



福島区民生委員児童委員協議会

福島区では現在90名の民生委員・児童委員が活動しており、そのうち17名が主任児童委員として、子どもや子育て家庭への支援を中心に活動しています。

民生委員・児童委員は、地域住民の最も身近な相談相手として、高齢者の見守り活動や子育て支援、地域福祉活動などに取り組み、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指しています。

福島区民生委員児童委員協議会では、「地域とのつながりを大切にしながら、住民一人ひとりに寄り添う活動」を基本理念として、日頃から関係機関や地域団体と連携しながら様々な事業を実施しています。

今回は、その中から「児童福祉月間における遊具贈呈事業」及び「第3回福島区ふくふくまつり」の取り組みについてご紹介します。

児童福祉月間における遊具贈呈事業（令和8年5月）

福島区民生委員児童委員協議会では、毎年5月12日の「民生委員・児童委員の日」を中心とした活動強化週間に合わせ、児童福祉月間の重点事業として「遊具贈呈事業」を実施しています。

この事業は、地域の未来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、区内の保育施設や認定こども園等へ遊具を贈呈するもので、長年継続して取り組んでいる福島区民生委員児童委員協議会の特色ある活動の一つです。